

第61回通常総会・総会懇親会



第61回通常総会

[第61回通常総会]

- 1 開催日時 平成25年5月16日(木)15時30分～16時20分
- 2 開催場所 生田神社会館 3階 菊
- 3 出席会員 130社(委任状提出 68社を含む。)
- 4 結果

(1) 会長挨拶(要旨)

会員各位のご協力、ご支援によりまして社団法人兵庫県電業協会は、一般社団法人兵庫県電業協会となりました。会の運営は社団法人と何ら変わるところはないのですが、移行によりまして現在持っている予算の一部分を法律上の公益に関する事業に充て、協会資産を消費していくということになっています。当協会は14年程度で消費していく計画となりますが、毎年皆さんから会費をいただいておりますのでそれが無くなってしまいうるものではありません。協会としては今まで以上に社会貢献活動を活発にやっていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

本日総会後の懇親会では、井戸知事がお見えになります。今年7月の知事選挙に4選出馬されるということで、先日の理事会で当協会としては再選の応援をさせていただこうと推薦を決定いたしました。すでに皆さんにもご案内をさせていただいている次第ですが、懇親会の席上、改めて推薦状をお渡ししたいと考えておりますのでご理解をいただきますようお願いいたします。

さて、アベノミクスと言われる3本の矢の経済対策によりまして、円安、株価上昇という状態になって来ています。昨日、国の今年度予算が決まりましたが、公共工事に対して相当な上積みがされています。今回の予算には、いわば「人からコンクリートへ」が明確になって来ているとの感を持ちます。公共工事予算の75%が土木関係、25%が建築関係で、建築関係が多い我々の業界としては、仕事増が実感できるのはもう少し先になるかも知れません。しかし設備投資の計画が出て来たり、家を建てよう、消費財を買おうなど気分が上向き、来年の消費税アップで駆け込み需要が出てくれば、協会としてもこれほど有難いことはないと思います。

当協会の会員数であります、だんだん減少し、残念ながら143社になっています。会を運営していく上で、170社がどうしても達成したい目標ですので、各地区で各地区の会員の2割の増強を是非ともお願いする次第であります。

本日は、一般社団法人になって従来の総会のやり方が、協議事項が報告事項に置き換わるなど少し変わった点がありますが、みなさんのご協力をどうかよろしくをお願いいたします。

- (2) 議長選出
平井伸幸会長を議長に選出
- (3) 議事録署名人選出
議長が定款に基づき東洋電気工事(株)合田吉伸理事及び栄興電機工業(株)小坂佳秀理事を指名
- (4) 議事
ア 報告事項
第1号報告 「一般社団法人への移行に関する件」、第2号報告 平成24年度事業報告に関する件」の2件の報告が行われました。
イ 審議事項
第1号議案 「平成24年度収支決算に関する件」、第2号議案 「会費改定及び入会金に関する件」のいずれもが、満場一致で可決承認されました。

[総会懇親会]

午後5時から同会館4階富士において、兵庫県知事 井戸敏三氏、同副知事 吉本知之氏をはじめ兵庫県神戸市幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、正会員・賛助会員と合わせ122名の参加のもと第61回通常総会懇親会が開催されました。

懇親会の席上、夏の知事選挙に出馬を表明されている井戸知事に対し、会長から井戸氏を最も適任の候補者と認め推薦する旨の協会推薦状をお渡しするとともに、会員から寄せられた多数の推薦書を井戸知事に直接お渡ししました。



平井会長挨拶



井戸知事祝辞

井戸知事祝辞要旨

総会懇親会の和やかな席にお呼びいただき、心からお礼を申し上げたいと思います。アベノミクスはもうしばらく我慢しておかないと電業の分野に及んで来ないのではないかと、今はどちらかというと円安に伴う原材料高、電気料金の値上げというコストプッシュが響いて来ていて、実需が後を追いかけてくる状況が生まれてくれないと、アベノミクスが現実的にならないのではないかと感じています。

但し、マンションなどの建物は少しずつ上向きつつあります。県では安全・安心の投資が多く、電気設備業界は期待を持ちにくいと感じておられるかも知れませんが、例えば県立病院の計画的な建替えも行っており、これらは関係して来るのではないかと感じています。

また「元気交付金」という制度を使って、今まで滞っていた庁舎等の補修を今年度は計画的にやっていこう、社会資本・インフラの老朽化対策を進めていこうとしています。橋梁、トンネルなどの分野の補修工事が関連する分野に成り得るのではないかと、更に津波対策としての防潮堤の閘門などの自動化計画等については、きっと関連業種になるのではないかと感じられます。政府予算も成立し、それを受け昨年度の補正予算と今年度当初予算を合わせた合計の事業量ベースでは、予算は3割ほど増えており、これを出来るだけ社会資本整備に活かしていくことが私の役割であります。電業協会の皆様には、いろいろな形で協力をいただくことになろうと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

分割発注にも意を用いまして、中小企業の皆さんへの発注率を8割以上にしたい、これを今年の目標としております。

先行きに対して期待感が持てると言われる方々が増えて来ています。我々も先行きに期待をしながら、一方で県土空間の安全・安心を更に高めていく努力をしていきたいと考えております。業界としてのご協力を改めてお願い申し上げる次第であります。

最後になりましたが、今日は大変多くの県の関係者が参加させていただいております。いろいろな課題につきまして、直にお聴かせいただければ幸いです。電業協会の益々のご発展と会員会社の躍進を心から祈念申し上げます。



井戸知事に協会推薦状を交付

主な行政関係出席者(敬称略)

井戸敏三(兵庫県知事)、吉本知之(兵庫県副知事)、山口信行(兵庫県議会議員・協会顧問)、高田巖(元神戸市会議員・協会顧問)、富岡誠司(県理事)、大町勝(県まちづくり部長)、古川直行(県県土企画局長)、藤原一(県住宅建築局長)、土居康成(県企業庁次長)、沖正彦(神戸市都市計画総局設備担当部長)、高尾聡(兵庫労働局安全課長)、川端宏幸(兵庫県住宅供給公社理事長)